

## 事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 南丹市教育委員会
2. 研究主題 : 学校統合を行う場合の教育環境充実事例研究
3. 研究タイトル : ふるさと「美山」の学びを通じた児童の確かな学力形成と地域の活性化に関する研究
4. 研究課題 :
- ・ 広大となる校区において、美山地域全体の豊かな教育資源を最大限に生かし、校区全体を学習キャンパスとした学習活動を展開するための新たな教育内容づくりや教材開発。
  - ・ 地域の文化・自然・歴史・産業等の特色を生かし、地域人材との交流を通して児童の学びを深める教育課程の開発、実施。

### 5. 事業の実績

#### (1) 調査研究のねらい

・ 広大な校区における多様な教育資源を最大限に生かし、教育内容づくりや教材開発を行い、地域の教育力に裏打ちされた質の高い学力を児童に身に付けさせる。

・ 再編前の各地域が育んできた連携・つながりをさらに深め、美山小学校の子供たちを地域全体で育てる協働意識を高め、地域の活性化を図る。

#### (2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

6月	「美山学」の授業スタイル・指導方法の探究 「美山学」学習カリキュラムの作成
7月	「美山学」カリキュラムに基づく第1回授業研究会 4年道徳「下流を守る大野ダム」
8月	先進校視察(秋田県雄勝郡東成瀬村立東成瀬小・中学校) 第1回研究推進会議 「美山学」カリキュラムに基づくフィールドワーク
9月	本加配教員を核とした5つのフィールドにおける教材開発・作成
10月	「美山学」カリキュラムに基づく第2回授業研究会 2年道徳「町の大いちょうの木」
11月	1年次公開授業研究会（「美山学」カリキュラムに基づく第3回授業研究会） 5年社会科「美山の農業について知ろう」 第2回研究推進会議
12月	学習発表会(各学年の取組内容の発表)
1月	「美山学」カリキュラムに基づく第4回授業研究会 3年社会科「古い道具と昔の暮らし」 2年道徳「ぎおんまつり」
2月	第3回研究推進会議 第1回サテライト教室 第2回サテライト教室
3月	第1回熟議開催(テーマ)「美山の子どもたちにどう育ててほしいか」(大学教授、美山まちづくり委員、美山小学校コミュニティスクール推進委員、美山中学校学校評議員、美山小学校教職員、美山中学校教職員、南丹市教育委員会等行政職員) 1年次研究報告作成(冊子) 「美山学」リーフレット作成

## 6. 事業の成果

### (1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>「美山学」の学習プランを学年ごとに作成、その実践を授業研究会で検証し、学習発表会等で地域住民や保護者を対象に発表を行った。</p> <p>授業研究は計4回実施</p> <p>①4年道徳「下流を守る大野ダム」7月</p> <p>②2年道徳「町の大きいちょうの木」10月</p> <p>③5年社会科「美山の農業について知ろう」11月</p> <p>④3年社会科「古い道具と昔の暮らし」・2年道徳「ぎおんまつり」1月</p> <p>学習発表会では、各学年めあてをもって調べたり体験したりして考えたこと等を、劇やワークショップ形式にして発表し、地域住民や保護者に美山学の具体を伝えることができた。</p>
<p>本加配教員がコーディネートし、各学年が地域の中で本物体験をしたり、地域住民に來校いただき話を聞いたりすることができた。また、学校だよりや美山学だよりの全戸配付や防災無線の教育利用で児童の学習活動等、地域住民に広報を行った。さらに、児童保護者対象に、2回アンケートを実施し、評価・改善を図った。</p> <p>学校だよりは計6回、美山学だよりは計2回（2月末日現在）の全戸配布ができた。防災無線を活用した取組のPRは3年生以上で計6回行い、地域への呼びかけが積極的にできた。児童のアンケートでは、「美山には自慢できるところがある」という項目では「特にそう思う」「そう思う」が79%（10月）から92%（1月）と大きく伸びた。保護者アンケートでは、「子どもたちに地域のよさを学ばせていると思う」という項目で「そう思う」が76%（10月）から87.9%（1月）になり、「子どもたちは美山の自然や文化、歴史に親しみを感じ興味を持っていると思いますか」が71%（10月）から80.3%（1月）になり、どちらも10ポイント近くの上昇がみられた。取組及び広報の成果が表れたと考えている。</p>
<p>閉校した旧4小学校の校舎を活用した「サテライト教室」で、児童と地域住民が共学するカリキュラム開発に着手できた。</p> <p>第1回4年サテライト教室「先人の足あと一大野ダムー」（旧大野小）</p> <p>第2回3年サテライト教室「残したいもの伝えたいものーかやぶきの家ー」（旧知井小）</p> <p>地域の方々の参加（第1回は17名、第2回は7名）も多くあり、「子ども達が美山の歴史や文化、人々の願いを学習することはとてもうれしい」「私たち大人も知らなかったこともあり大変勉強になる」「子どもの美山学の学習に元気をもらった」と言った感想が寄せられた。また2回とも参加していただいた地域の方もおられ、今後の協働、共学の可能性を見出すことができた。</p> <p>また、「美山の子ども達にどう育ててほしいか」をテーマに熟議を行った。ふるさと美山を愛し、生き抜く力をもってほしいなど、美山の子ども達の育つ姿の共有化を図った。その後、本事業の推進会議に美山まちづくり委員が参画し、地域総がかりで本事業に取り組み美山の子ども達の育ちを見守っていくことを確認した。</p>

### (2) 成果物等

<ul style="list-style-type: none"><li>・1年次研究報告（美山学だより含む）</li><li>・「美山学」リーフレット（フィールドマップ含む）</li><li>・児童・保護者アンケート</li></ul>
--

### (3) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"><li>・次年度に向けた「美山学」カリキュラムの改善案の作成</li><li>・第1回研究推進会議の内容の検討</li><li>・先進地視察に係る連絡調整</li><li>・児童ホームステイ先の募集</li></ul>
---